

編 集 後 記

ご存知のようにこの3月25日に野坂研介学術・生涯教育委員長がご逝去されました。委員会で島根医学の充実のために熱弁をふるったお姿が想いだされてなりません。この紙面をお借りして、ここにあらためてご冥福をお祈りさせていただきます。

さてゴールデンウィークも終わり、新緑さわやかな候になりましたが、頭は少々連休ボケ気味で筆をとっている次第です。睡眠障害は、今や日本人の5人に一人は入眠困難や中途覚醒などの問題を抱えているといわれ、精神神経科等の専門機関だけではなく、内科を中心として外科・整形外科や眼科、耳鼻咽喉科なども受診しているようで、一般臨床医にとっても興味深く有意義なテーマであります。さらに気管支喘息についても、小児・成人を問わずその発症率は年々増加の一途をたどっており、いろいろとガイドラインも作成され、ステロイド吸入療法の地位も確立されてきて、その治療成績も上がってきているにも拘らず、喘息死は一向に改善されてきていないわが国の現状があり、小児期早期からの発症予防はとても重要な課題といえます。今後これらの研究が更に積み重ねられていくことを期待しています。投稿論文について、「障害ドック」は耳慣れない用語ですが、短期間の集中リハで、FIMは評価できないものの、日常生活上有用な機能向上が大半で認められており、今後更に知見を増やして頂いて、このようなりハシステムが多くの施設で取り上げられることを願っています。症例報告等の研究論文については長見氏の4篇に敬意を表するとともに、さらに多くの会員の方々からの投稿を願っています。

(H.S.記)

島根医学編集委員 (平成19年4月1日現在)

沖田 瑛一, 西野 泰生, 武田 博士, 伊藤 是衛, 葛尾 信弘,
 児玉 和夫, 益田 順一, 信太 秀夫, 岩本 正敬, 佐藤 比登美,
 中川 正久, 小林 祥泰, 徳島 武

島 根 医 学

平成19年3月31日発行

発行者 島 根 県 医 師 会
 浜田市蛭子町
 編 集 編集者 沖 田 瑛 一
 発行所 松江市学園南2丁目3番11号
 有限会社 松 陽 印 刷 所